

# 「稼げる農業モデル」導入に向けたイニシアチブ 概要（生産性向上WGとりまとめ資料）

- 我が国農業は小規模・分散した農地等を背景に、構造的に生産性が低い状態である一方、今後は、**国内に限らず海外輸出も含めた食料の安定供給により農業の稼ぐ力を高めていく必要**。そのため、「稼げる農業」の実現に向けて、生産現場での具体的な案件形成を加速化すべく、「日本の農林水産行政の戦略本部」の下に「**生産性向上WG**」を設置（2026年2月～6月に4回開催）。
- 生産者・企業や自治体、金融機関からのヒアリングにより、以下の課題を整理。
  - ① 農業は投資リスクが高く、**投資対象としての予見性が低い**といった「**資本**」の課題
  - ② **農地集約の推進**や円滑な農地承継といった「**農地**」の課題
  - ③ **労働力不足**や**中長期的な人材育成・確保**といった「**人**」の課題
- これら課題の解決に向け、本イニシアチブでは、**稼げる農業を実現しうる案件に農水省がコミットすることでリスク低減を図り、民間投資を呼び込むモデルを複数地域で創出し、国内生産基盤の強化及び輸出拡大の加速化を目指す**。

取組イメージ

フェーズ1：モデル形成段階

フェーズ2：実運用段階

(モデルの普及拡大)

